

山家学生式さんげがくしょうしき

山家学生式さんげがくしょうしきにのたまわく、同音 国宝こくほうとは
何物なにものぞ、宝たからとは道心どうしんなり。道心どうしんある人ひとを
名なづけて国宝こくほうと為なす。故ゆえに古人こじんの言いわく、
径寸十枚けいすんじゅうまい、是これ国宝こくほうに非あらず、一隅いちぐうを照てら
す、此これ則すなわち国宝こくほうなりと。古哲こてつまた言いわ
く、能よく言いいて行おこなうこと能あたわざるは国くにの
師しなり、能よく行おこないて言いうこと能あたわざるは
国くにの用ゆうなり、能よく行おこないて能よく言いうは国くにの
宝たからなり。三品さんぼんの内うち、唯ただ言いうこと能あたわず、
行おこなうこと能あたわざるを、国くにの賊ぞくと為なすと。
乃すなわち道心どうしんあるの仏子ぶつし、西にしには菩薩ぼさつと称しょう
し、東ひがしには君子くんしと号ごうす。悪事あくじを己おのれに向むかえ
好事こうじを他たに与あたえ、己おのれを忘わすれて他たを利りする
は慈悲じひの極きわみなり。